

環境経営実践講習会のご案内

脱炭素社会実現が求められるなか、企業経営における環境保全活動の位置づけが、「社会的な責任」から「ビジネス戦略の一つ」に変わりつつあります。本講習会では、今後の企業活動に求められる環境への配慮の重要性についての解説と、先進的な取り組み事例について紹介します。ぜひご参加ください。

- ◆ 日 時：令和3年12月22日（水） 13:30～16:30
- ◆ 開催方法：Microsoft Teamsによりオンライン開催します。
- ◆ 定 員：100名
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 内 容：

◇第1部

○講師 九州大学大学院経済学研究院 准教授 藤井 秀道 氏

○テーマ「企業活動と環境保全について」

1. 企業活動における環境保全の位置付けの変遷
2. 個別テーマにおける環境保全活動の取り組み紹介

①気候変動問題（脱炭素）への対応と製造業・非製造業における取組

②資源利用効率の向上を目指す循環経済(サーキュラーエコノミー)への経済システムの転換

③企業の重要課題（マテリアリティ）への対応と、非財務指標による投資家（ステークホルダー）の評価

<藤井講師は、日本経済新聞で、「企業活動と環境保全」、「経済発展とCO2排出量の関係性分析」等のテーマで環境と経済の両立可能性についてわかりやすい解説を多数されておられます。本講習会では、環境経営に取り組む事業者への社会的評価の変化や環境負荷削減のための国の目標、循環経済の可能性などの幅広い分野から、今後の企業活動に求められる環境保全への配慮の重要性について解説いただきます。>

◇第2部

○講師 株式会社SAMURAI TRADING 代表取締役 櫻井 裕也 氏

○テーマ「卵殻を利用したCO2削減モデル」

- ・取り組みのきっかけ
- ・卵殻を利用する意義
- ・エコ玉プロジェクトについて
- ・CO2削減の具体的内容と成果

<櫻井講師は、デザート製造で大量に廃棄される卵殻に着目され、株式会社SAMURAI TRADING を設立、バイオプラスチック素材「PLASHELL（プラシェル）」を開発・商品化されました。また、卵殻を利用した紙製品「CaMISHELL（カミシェル）」や食器「SHELLMIN（シェルミン）」の商品化にも取り組まれ、大手外食チェーンや大手ホテルチェーンで採用が決定されています。同社の取り組みは2年連続して渋沢栄一ビジネス大賞を受賞されるなど高く評価されています。本講習会では、製造業における環境経営の先進事例として、開発のきっかけや取り組みの成果について紹介いただきます。>

- ◆ 対象者：環境経営に関心のある事業者等
- ◆ 主催：広島市、公益財団法人広島市産業振興センター
- ◆ 申込：令和3年12月17（金）までに、申込フォームでお申込ください。
 - ※暴力団員又は暴力団関係者の方は申込できません。
 - ・オンラインセミナー参加で生じる通信費は参加者で御負担ください。
 - ・ソフトウェアは、Microsoft Teams を使用します。
 - ・申し込みをされた方のE-mail アドレスに、受講案内を12月20日（月）までに送付します。期日になっても受講案内が届かない場合は、必ず以下の連絡先まで御連絡ください。
- ◆ 連絡先
公益財団法人広島市産業振興センター（広島市工業技術センター内）
担当：田中真美 Tel 082-242-4170、FAX 082-245-7199
電子メールアドレス tanaka-m@itc.city.hiroshima.jp